



市内の避難場所・避難所一覧

災害発生時の避難先として、「避難場所」や「避難所」が指定されていますが、それぞれ役割が違います。違いを知っておき、避難行動に役立てましょう。

避難場所＝身の安全を確保するために、一時的に避難する場所です。避難場所では、原則、市の災害備蓄品などの提供はありませんので、避難先で必要なものは各自用意してください。地震の場合は、学校の校庭や公園などの開けた場所が該当します。

避難所＝災害により自宅が被災し帰宅できないため、一定期間生活をするための建物です。学校の体育館や公民館などが該当します。

※避難場所・避難所となる施設(学校など)は、一部使用できない部屋もあります。

No.	名称	指定緊急避難場所		指定避難所		所在地	電話
		地震	洪水	地震	洪水		
1	幸手小学校	○	○ (2F)	○	○ (2F)	中 3-11-41	☎ 0480 (42) 0042
2	権現堂川小学校	○	○ (2F)	○	○ (2F)	大字神明内 570	☎ 0480 (48) 0950
3	上高野小学校	○	○ (2F)	○	○ (2F)	大字上高野 1009	☎ 0480 (42) 0350
4	吉田小学校	○	○ (2F)	○	○ (2F)	大字惣新田 3159	☎ 0480 (48) 1042
5	八代小学校	○	○ (3F)	○	○ (3F)	平須賀 1-14	☎ 0480 (48) 0960
6	行幸小学校	○	○ (3F)	○	○ (3F)	大字円藤内 460-2	☎ 0480 (42) 0349
7	さかえ小学校	○	○ (3F)	○	○ (3F)	栄 2-90	☎ 0480 (43) 1509
8	長倉小学校	○	○ (3F)	○	○ (3F)	大字下川崎 242	☎ 0480 (42) 7746
9	日本保健医療大学	○	○ (3F)	○	○ (3F)	大字幸手 1961-2	☎ 0480 (40) 4848
10	さくら小学校	○	○ (3F)	○	○ (3F)	大字幸手 72	☎ 0480 (43) 0623
11	幸手看護専門学校	○	○ (3F)	○	○ (3F)	香日向 4-5-1	☎ 0480 (31) 7121
12	幸手中学校	○	○ (2F)	○	○ (2F)	北 1-7-4	☎ 0480 (42) 0203
13	東中学校	○	○ (2F)	○	○ (2F)	大字平須賀 2912-3	☎ 0480 (48) 0954
14	西中学校	○	○ (3F)	○	○ (3F)	大字下川崎 387	☎ 0480 (43) 4611
15	幸手桜高等学校	○	○ (2F)	○	○ (2F)	北 1-17-59	☎ 0480 (42) 1303
16	吉田幼稚園	○				大字惣新田 1478	☎ 0480 (48) 1082
17	中央公民館	○		○		緑台 2-1-7	☎ 0480 (42) 5156
18	東公民館	○	○	○	○	大字下宇和田 58-6	☎ 0480 (48) 0013
19	西公民館	○		○		大字千塚 117	☎ 0480 (43) 0881
20	南公民館	○		○		大字上高野 1194	☎ 0480 (43) 6053
21	北公民館	○		○		大字内国府間 867	☎ 0480 (42) 6221
22	老人福祉センター	○		○		大字木立 1513	☎ 0480 (47) 1126
23	コミュニティセンター	○		○		香日向 4-5-2	☎ 0480 (43) 9390
24	海洋センター	○	○	○	○	大字木立 1779-3	☎ 0480 (48) 0220
25	武道館	○		○		大字幸手 1957-1	☎ 0480 (43) 0190
26	図書館	○		○		緑台 2-5-25	☎ 0480 (42) 0169
27	アスカル幸手	○	○ (2F)	○	○ (2F)	大字平須賀 2380-1	☎ 0480 (48) 0048
28	千塚西公園	○				香日向 3-13	-
29	権現堂公園	○				大字内国府間地内	-
30	幸手総合公園	○				大字木立 1779-1	-
31	東埼玉総合病院（駐車場）	○				大字吉野 517-5	-
32	ウェルス幸手	○	○ (2F)			大字天神島 1030-1	☎ 0480 (42) 8435

※幸手市では地区ごとの避難場所や避難所を指定していません。災害の規模やライフラインの状況などによっては、全ての避難場所や避難所が開設されない場合もあります。日頃から自分が避難する場所を複数ご確認いただくようお願いします。



9月1日は防災の日

1923(大正12)年9月1日に発生し、10万人以上の死者・行方不明者を出した「関東大震災(M7.9)」に由来し、9月1日は防災の日とされています。(写真は当時の幸手の様子)

- ① 安全な場所に住んでいる親戚や知人などの頼れる人がいれば、そこへの避難も考える。
 - ② 災害の影響のない離れた地域にあるホテルや旅館などへの避難も考える。
 - ③ 安全な場所にある建物に住んでいる人は、自宅(2階)に留まることも考える。
 - ④ 安全な場所(浸水リスクがない、倒壊する建物がないなど)であれば、一時的に車の中で過ごすことも考える。
- ※定期的な換気、エコノミークラス症候群を予防するための適度な運動や弾性ストッキングの着用が有効。

- 季節に関係なく長袖や長ズボンを着用
 - スニーカーなど動きやすく底が厚めの靴を履き、杖や傘などで足元を確認
 - 両手が使えるように荷物はリュックを活用
 - ヘルメットや帽子の着用
- 災害により周辺環境が悪化し、危険が伴う場合があります。避難行動時はつぎの点に気を付けましょう。

- 感染症を拡大しない
- ▼避難場所・避難所に避難する前
- 感染症拡大を未然に防ぐために一番大切なことは、体調チェックです。発熱や咳、だるさといった症状が出ていないか確認し、体調不良の場合は別室にいるなど、ほかの人との接触を無くします。
- ▼避難場所・避難所での感染症対策
- 不特定多数の人が一度に集まることから、感染症への感染のリスクが高いと言えます。

■避難時に持っていくと良いもの

- 【例】
- すぐに口にできる食料や飲料水
 - 普段から服用している薬
 - 気温変化に対応するための着替えや毛布
 - 借りることが困難なメガネや入れ歯
 - 情報を知るための携帯電話やラジオ
 - 足の保護のためのスリッパや室内シューズ
- ※感染症を防ぐために「マスク・消毒液(アルコール消毒)・体温計」も必須です。マスクを持っていない場合は、鼻と口を覆える大きさのタオルや手ぬぐいなど、また、消毒液がない場合は、ウェットティッシュで代用できます。

災害から命を守るための行動になりますので、持っていくものは、自分や家族などの命を守るために真に必要なものとしします。

幸手市地震・洪水ハザードマップの「わが家の防災メモ」を活用し、リスト化しておくこともお勧めです！



避難の際は、その点を踏まえた行動や準備が必要です。

感染症を避けるための行動として、「密閉・密集・密接」の3つの密を避けること、手洗いや消毒を徹底すること、毎日の体調のチェックを行うことを実践します。

全国瞬時警報システム J-ALERT

このシステムは、人の手を介することなく24時間自動で、市民のみなさんへ緊急情報を提供するシステムです。緊急時には、このシステムと連動して防災行政無線から、緊急地震速報や消防庁の国民保護情報(弾道ミサイル発射情報など)の緊急情報をリアルタイムで放送します。